

CONTENTS

- 経営系インテンシブコース、米国で充実の研修(2面)
- 『人権啓発特別週間』を実施(3面)
- 女子大最後の同窓会盛会(4面)

◆ 独白 ◆

大阪国際学園 理事長 奥田吾朗

「成長・拡大思考の転換期を考える」

「経済成長がなければ私たちは豊かにならないのだろうか。これは嘆息ではなく、ダグラス・ミース氏の著作名である。先日、新聞で紹介されていたこの本を手にとってみた。詳しい内容は書評に譲るとして、私の感じた点について触れてみたい。

著者は、20世紀の常識であった「成長」概念というのが今世紀には常識として通用しないと論じる。そして、現在の日本が抱える経済低迷といった状況を新しい常識構築のためのきっかけにすべきであるとも説く。著者はさらに、「対抗発展」を提唱する。これは、経済以外のものの価値を再評価し、「市場拡大」活動以外のあらゆるゆとりを、発展させることを意味している。こうした考え方の根底には、そもそも豊かさは、経済活動だけでなくあらゆる領域の活動に関わる総合的なものなのだという筆者の思いが垣間見える。

これまで「教育」は、「経済」を支える役割を担うとする見方をされがちであり、われわれ自身もまたそれを好むとする風潮を醸成しつつあった。本書を手に取り、総合的な豊かさは何か、あるいは学校法人にとつての「市場拡大」の意味するところ、などを再考してみる必要性をあらためて感じたところである。

GLOBAL MIND

グローバルマインド

発行/学)大阪国際学園広報室
〒570-8555 守口市藤田町6-21-57
☎06(6902)0787(代) FAX06(6902)8961
Eメール:lkoho@oiu.ac.jp
http://www.globalmind.jp/

GLOBAL MIND IS THE SPIRIT OF OSAKA INTERNATIONAL EDUCATIONAL INSTITUTION

大阪国際大学(OIU) 枚方キャンパス072(858)1616(代) 守口キャンパス06(6902)0791(代)	大阪国際滝井高等学校(OITH) 06(6996)5691(代)
大阪国際女子大学(OIUW) 06(6902)0791(代)	大阪国際大和田高等学校(OIOH)・中学校(OIOJ) 06(6904)1118(代)
大阪国際大学短期大学部(OIC) 06(6902)0791(代)	大阪国際大和田幼稚園(OIOK) 06(6902)7329(代)

女子ソフトボール部 3選手が日本代表に 世界大会・アジア 選手権で大活躍



第1回世界女子大学ソフトボール選手権大会日本代表チーム選手団に大学・短大女子ソフトボール部から大学スポーツ行動学科4年生松村 歩さん(大和田高校出身)が選ばれ、大会に出場。日本代表チームは銅メダルを獲得した。

↑世界を舞台に堂々のピッチングを繰り広げた松村さん

選考会、強化合宿を経て91名の中から最終17名の中に選出。大会は、10月26日から31日まで米国フロリダ州のプラントシティスタジアムで行われ、松村さんは主力投手として、2試合先発、2試合にリリーフで登板、約100キロの速球と変化球を武器に堂々としたピッチングを見せた。大会初日には、米国(優勝チーム)を相手に先発。得点に苦しみ0-2で敗れたものの、2点におさえての完投と大健闘した。

甲子園球児だった父親の影響で小学校時代からソフトボールを始めた松村さん。昨年はアジア選手権日本代表に選ばれたが、SARS

日本選手権5種目に出場権獲得 快挙続く「陸上」の大阪国際大学

100m、200m、800m、4×100mリレー、走高跳の5種目で日本選手権出場権獲得と、昨年に増して勢いに乗る大学・短大の陸上競技部。西日本インカレでは女子100m、200m、4×100mリレーで見事優勝という快挙を成し遂げた。高校時代は全く無名だった加茂有希子(スポ4)は、短距離で次々と連覇、記録を伸ばしている。リレーも、各大会で大活躍、陸上の大阪国際大学を西日本で強く印象づけた1年となった。

(敬称略)

日本選手権は、加茂有が、100m、200mで大阪学生選手権(4月)において大会新で優勝、いち早く出場権を獲得した。また、近畿選手権(8月)で、800m2位の野々村ふみ(国際大AC)、4×100mリレー2位の加茂安希子(スポ4)・加茂有・川西亜季・同2・布谷宏子・同4、走高跳6位の児玉里穂(同3)がそれぞれ出場権を獲得、計5種目となった。

西日本インカレ(9月)では、4

軟式野球部

全日本大学選手権準優勝!!



ソフトボールでは女子選手権、男子ソフトボールでは女子選手権、ソフトボール部から辻恵里子さん、宮幸代さんが日本代表選手として出場。見事優勝を果たした。大会は5月25日から30日にかけて韓国ソウル市で行われた。辻さんは短大幼児教育科1年次生で投手、2試合先発完投した。宮さんは同2年次生で内野手、サードを守り2塁打を放つなど活躍した。

国際大新学長に奥田吾朗理事長



奥田吾朗 学長

国際大の金子敦郎学長が12月31日付けで辞任、新学長に奥田吾朗理事長・短大学長・滝井高校学長が就任する。任期は17年1月1日から21年3月31日。

滝井高校「チャイルドケア」 大和田高「理数」、中学「二貫・特進」 各コース新設へ

滝井高校では、アカデミック(標準)コースで高校在学中に大学の講義が

新開陽二教授、文化功労者に



新開陽二 教授

10月29日、国際大法律経済学部の

新開陽二教授が文化功労者に選ばれた。分野はマクロ経済学、国際経済学。

新開陽教授は、経済成長の多部門分析で固定技術係数の2部門モデルを構築。日本経済の長期計量モデルや、合理的期待を導入した為替レ

ト決定のモデルなども考案した。

国際大では、「マクロ経済理論」、「経済政策」、「国際経済学」、「経済学特殊講義(経済原論)」を担当。また、大学院総合社会科学部研究科国際政経専攻では、「国際経済学」を担当している。

大阪大学名誉教授で、同大学経済学博士。受賞の喜びを「思いがけないことで驚いている。大学院と助手の時の研究が評価されたのは、研究者としての晩年への贈り物とうけている」と語っている。

保育士・幼稚園教諭を目指す生徒がふえたことから、新たにチャイルドケア(幼児保育進学)コースを'05年度より開設。短大幼児保育学科の授業を前期は高校で、後期は短大で受講するなど垂直連携を一段と強化する。

一方、大和田中・高校では、有名校や国立公立大への進学実績を作ってきたが、更に国立公立大進学者増進的を絞った高校・理数コース、中学・二貫特進コースを'05年度より開設する。

国際大の軟式野球部は、全日本大学選手権で準優勝を果たした。

西都大学連盟春季リーグ(4月)6月で8勝2敗で優勝、全日本への8回目の切符を手にした。昨年の全日本ではベスト8進出。今回は、宮崎産業経済大学、立命館大を下して見事決勝へ進出。8月14日、松山中央公園野球場で行われた決勝で、日本体育大学に0-9で敗れたものの初準優勝となった。敢闘賞を片山潤さん(経情3)が受賞。

守口キャンパスから駆け付けけるメージャーやアスレティックトレーナー部も、選手たちの活躍を支えている。11月には西日本大会へ15年連続15回目の出場、第4位となった。

暎園大学校 (韓国・城南市)



2002年教育改革評価「教育部」で最優秀大学に選ばれ、韓国10大名門私学に著実に近づきつつある暎園大学校

IT分野を特性化

教育改革で最優秀大学に
本学と'03年から交流

く評価され、2002年教育改革評価の「教育部」で最優秀大学に選ばれている。同大学は、'98年大学総合評価優秀大学・'99年大学総合評価最優秀大学と着実に実績を

書の調印が同大学で執り行われた。5月から6月にかけて開催された本学と中国東北大学共催「国際セミナー」に、暎園大学から朴眞秀教授が参加、約2週間のプログラム期間中活発な発言でセミナーを盛り上げた。続く8月には、本学から同大学へ第1回目の地域研修グループが派遣された。この研修には両キャンパスの大学生6名が参加し、同大学に滞在しながら韓国語学習や韓国文化体験を行い、大きな成果を上げた。

また、9月には、同大学より2名の交換留学生が来日、守口キャンパス留学生別科へ入学した。一方、すでに2005年度

韓国ブームで深まる関心

を導く人材を養うために、教育の特性化・専門化に力を入れており、特にIT分野の特性化を通じて、韓国科学技術の未来に中心的な役割を担おうという野心的な計画の下、2001年に国内大学として初のソフトウェア大学(学部)を新設した。

積み上げてきているが、今回の受賞で羨望する10大名門私学という究極の目標にまたさらに一歩近づくことになった。

本学と暎園大学校との関係は、2003年秋韓国での「日本留学フェア」の本学ブースに担当者が来訪したことがきっかけで先方の代表者が本学を訪問。金子学長を交え本格的な協議が行なわれ、本年2月には、教員や学生を含む包括的学術交流協定

海外協定校派遣留学(交換留学)の募集が始まっており、もちろん同大学への留学希望者も大歓迎である。

中国の浙江万里学院
32校目の海外協定校

国際大は、中国の浙江万里学院と10月28日付で、交流協定を結んだ。これで、大学の海外協定校は32校目、中国(香港含む)の大学では6大学目となる。

同学院は、学生数は現在、文系・理系9学部(文化コミュニケーション、外国語、法律、芸術、商学、コンピュータ、電子工学、生物等)で17,000人。国際交流にも力を入れており、特にイギリスのノッティンガム大学とは共同で寧波に、寧波ノッティンガム大学を設立し、イギリスより学長以下教員が派遣され、中国人のみならず、アジア各国からの学生に英語による教育を行っている。浙江デルタ地帯の経済発展と共に、中国全土でも私大の成功例として認められている。

その源は、元々蒋介石が生地の奉化に樹てた武林大学であり、本学の瀋陽における協定校の東北大学の創設者が張学良であることは奇しき因縁といえそうだが、国際大との交流提携の第一歩としては、浙江万里学院で7月に3年制の日本語学科を卒業した学生たちが、平成17年4月、本学3年次編入や留学生別科に入学してくる予定。

経営系インテンシブコース1期生

23人、米国で充実の研修

国際大経情

ネジメント」では、サービス企業の運営マネージャーを講師に招き、顧客を満足させるための基礎理論と現実の仕組みについて学習してきた。

今回の「海外事情研修」は、事業創造における、海外の市場の視点を身につけることを目的とし、流通、サービス分野では顧客、そして企業共に世界の最先端である米国を訪れることになった。

9月6日から11日の日程で、デザートヒルズアウトレットや

ウォルマートSCなど各企業を訪問した。プロの流通関係者などが視察や研修でまわるようなコースを設定し、企業の担当者や直接話をする機会を得たことは、通常の観光コースと大きく異なっている。

参加した学生たちは、「驚かされたのは返品可など顧客の我がままを受け入れること。これは日本にはまだ浸透していない部分であり、一般化するのは難しいと感じた。また、異文化に触れることによって、自分には

国際大経営情報学部経営系の起業・事業創造コース(経営系インテンシブコース)の2年次生23人が、9月、「海外事情研修」(担当 廣田章光教授・中野幹久講師)として、米国ロサンゼルス

米国の店舗を視察する学生たち

今、何が足りなくて必要なものは何か見つけることができた(石田陽平さん)、「アメリカという国を見て、日本だけではなく、他の国でも仕事をしてみようという気持ちになり、自分の中のビジネスチャンスが広がったような気がする。これは、アジアなども含めいろんな経験を

直言

守口市現代南画美術館は、直原玉青画伯をはじめ日本南画院等の著名な作家から優れた作品の寄贈を受け、

地域文化の創造
「南画の心の故郷・守口」

守口市現代南画美術館 館長 大倉 豪美

守口市現代南画美術館は、直原玉青画伯をはじめ日本南画院等の著名な作家から優れた作品の寄贈を受け、

現代南画を常設展示する国内唯一の美術館。南画は、水墨を基調とした東洋画で、中国から渡来した南宗画を伝承した絵画

どんな理由にせよ、文化に影響が生じてはならない。企画展を開催しても入場者の大半がシニア層で若い世代は少ない。美術館が大衆的に近づきにくい要因の一つに、幼少時に美術館との接触がなく体感することがな

留学・研修レポート
研修で誓った
カンボジア復興の支援

大阪国際大学法政経学部 3年次生 笹 慎吾

カンボジアの学校に通う生徒との交流が目的の研修だった。たどり着いたリング村には、電気もガスも水道も無く、村人と同じ生活を送った。そのため村人達と同じ目線で見てくる様々なものを見つけられた様に思う。そして何より人の温かさに心を打たれた。言葉は通じなくてもお互い通じ合う何かを感じた。そのような環境の中、生徒と交流をした。彼らは各々全員が自分の夢というものをしっかりと持っていて、それに対しての学びの姿勢というものは本当に熱心で見習うべきものがあった。朝は早くから、夜はアルコールランプを使ってまでも、夢の実現のため、そしてカンボジアの未来のために勉強に励んでいた。彼らを見てると、日本での自分の甘さを痛感した。しかし、このように学校へ通うことができる子供はわずかで、ほとんどの子供が学校へも通うことができないというのが現実であった。長く続いた内戦、ポル・ポト政権等による傷跡のすさまじさを、身を持って感じた。今、カンボジアは、この様な教育の問題以外にも地雷、人身売買、ゴミ処理の問題など、様々な大きな問題を背負い復興に向けて動いている。カンボジアから帰った今、現地で様々な事に直面し、考えさせられたことを一つずつ消化し、彼らが自国を良い形で復興させることができるよう、これからも支援したいという意欲で一杯です。

('04年8月18日～27日 奥田政三教育・研究基金により
カンボジア日本友好学園でのボランティアワーク研修に参加)

『人権啓発特別週間』を実施

短大

この人権教育講演会を実施したのは、7月9日に枚方キャンパスの学生会室内のホワイトボードにビラが貼られていたことに遡ります。ビラには要注意人物という文字の下に写真が入り、その下に日本語・英語・中国語で「この人物は、★★★から★★★へ引越したAという部落の人間です。女性留学生および女子部員は気を付けてね」と書かれていました(英語と中国語はネットの翻訳サイトを利用したもので日本語の意味どおりには訳されていない)。

この事件に関与した学生の事情聴取をおこない、関与した学生は処分を受け、その後の人権教育も受けていますが、理由はいかにあれ、ひとりの人間を言われなき偏見による部落差別によって誹謗中傷することの事実を容認することはできません。

これに関して7月16日付で大学学長と短期大学部学長の連名で「人権尊重・自由平等」がキャ

人間を尊厳する心を

〈アンケート調査〉

「いじめ」「人権」への意識薄い

ンパスに貼り出され、7月28日付では教職員に「差別をなくすために」のタイトルで、学生の人権教育に関する教育講演会が

イトルのもと、今回の学内「人権啓発特別週間」の実施とその趣旨が全教員・職員・学生に向けて掲示されました。

そもそも今回の出来事は、前期に全学生対象に人権啓発の映画会時にアンケート調査をした結果から識字問題、いじめ問題、人権問題について、本学の学生の多くがあまり真剣に考えていないことがうかがえ、つまりこれら問題についての認識、人権意識が希薄ではないかとの結果が出ました。

私も人権啓発委員会はこの事実を謙虚に受けとめ、今回の人権講演会を実施しました。人権の世紀といわれる21世紀に活躍していくべき学生には、国際人に相応しく、人権意識をもち人間を尊厳する心を養って頂きたい。「鉄は熱いうちに打て」という諺を念頭に、この事件の衝撃が薄れてしまわないように、第一歩を踏み出しました。講演会を実施するに至った動機から、



9月27日から10月1日まで講演会が実施され、学生・教職員が耳を傾けた。

テーマも人権問題としての部落差別が中心です。全学生、全教職員にも参加していただくために、守口キャンパスでは15回の講演会をもちました。

講師の先生方は以下のとおりです。(敬称略)
奥田 均(近畿大学 人権問題研究所教授「差別問題と人権を考える」)
川瀬俊治(帝塚山大学・天理大学 兼任講師「水平社宣言を読む」)
栗林輝夫(関西学院大学 法学部教授「今、部落差別を考える」)

竹村登茂子(読売新聞大阪本社 地方部次長「ジャーナリストとして―差別との戦い」)
友永健三(社団法人 部落解放・人権研究所所長「部落差別をどうとらえるか」)
中村清二(社団法人 部落解放・人権研究所研究部長「現在の部落問題を考える」)
畑 律江(毎日新聞 学芸部編集委員「足元の『気づき』から始めよう」)
福田雅子(ジャーナリスト「人間は尊敬すべきもの―私の取材ノートから―」)
宮本二美生(本学 人間科学部教授「差別と向きあう、自分と向きあう」)
八木晃介(花園大学 文学部教授「花園大学 人権教育研究センター」所長「部落差別問題を考える視点」)

今回の講演会だけですべてが解決できるものとは決して思っておりませんが、残された課題もあります。これからの積極的に人権啓発活動はしていくべきだと考えております。

大学・短大人権啓発委員会 委員長 鎌野多美子

年金制度、税務事務など学ぶ 自治体職員を講師に

法政経松下教授「地域連携授業」

地元自治体から講師を招き政策課題を学ぶ連続授業「地域連携授業」が、法政経学部松下啓一教授の1年次生の基礎演習「地方自治の政策課題」で行われている。

この試みは、自治体の政策課題に取り組んでいる第一線の職員に、その現状、課題、展望等を講義してもらうもの。講師は全てボランティアで、大学の地元北河内地区を中心に府下10自治体の市役所から招き、10月5日から来年1月11日まで毎週火曜日、「国民年金制度」「地方税制度の現状、税務事務の実際」など、さまざまなテーマの講義が続く。

学生にとっては、現場の生の声を聴くことで、地域や社会問題に対する関心が喚起されると共に、2年次以降の自身の動機づけともなる。学生は2人1組になり、講師へのメール連絡、司会、記録などを各授業で担当、非礼のないようメールを送るのも社会活動として大切な第一歩だ。

また、大学にとって地域連携の一環であることはもちろんのこと、市役所としても、市民と協働する自治体づくりに向け、大学との連携による効果には期待がかかる。

初日の10月5日には交野市総務部参事 奥野一志氏による講演

21人参加、熱気の夏期合宿

ジャーナリスト特訓講座

ジャーナリスト特訓講座の夏期研修合宿が、9月6日から8日の2泊3日で今年も行われた。3回目を迎えるこの合宿、I期生からIII期生までの総勢21人が参加した。

今回の会場はグリーンビレッジ交野(交野市私市)で、テ

マ「世界 日本 アジア」未来への視点―。学生たちは、多くのテキストを読み、小論文、スクラップなどの課題をこなして当日を迎えた。

初日は、開講式・オリエンテーションの後、I・II期生とIII期生に分かれた講義及び合同



楽しみながら7つのメニューに取り組む体育会部員たち

カルシウム摂ろう チーズ料理に舌つづみ 守口体育会部員

講義が行われた。また、読売新聞大阪本社編集局長の河内鏡太郎氏の講演「ジャーナリストとして生きる―プロとは何か」を聴き、夜は「プロとは何か」をテーマに語り合った。7日も講義はびっしり続き、午後には元共同通信ワシントン支局長の金子敦郎学長の講演「世界 日本 アジア」未来への視点 を聴いた後、前日に引き続いて夜更けまで「未来に向けて」をテーマに熱く語り合った。

7委員会設置 学生生活を総括

エンカレッジ講座生34人

大学のエンカレッジ講座生34人が、卒業を前に充実した学生生活の総括として7つの委員会を設置、それぞれの取り組みに励んでいる。

「人と組織」について実践的・科学的理解を目指して、担当の東田晋三講師と学生たちの自主活動をつづけたスタイルで作り上げてきた同講座。委員会は、「TA」、「OIU3年次生就職活動のためのテキスト制作」、「合宿及び懇親会企画実行」、「Dramatic 2(就職体験談集制作)」、「卒業アルバム制作」、「卒業式企画実行」、「企業研究発表会」の7つで、学生たちはそれぞれ討論・調査・検討を重ねながら自主的に運営している。

合宿は、すでに9月6日から8日に、滋賀県・グリーンパーク山東で実施済み。町営体育館を借り切った大運動会、ログハウスでの懇親会などで、講座生の結束はさらに固まった。

また、TA委員会の企画する「本気で就職したい3年生へ就活のコツ教えます」は10月29日からスタート。企業とのミスマッチを防ぎ、本当の意味で就職活動を成功させるため、3年生が受身でなく自ら率先して動いていけるよう、委員会メンバーがサポートを行っている。



今年度、兵庫県立母と子の島で行われた学外セミナー

フィールド・アクション・セミナー好評

大学生活の満足度アップ

心理コミュニケーション学科 対人関係能力が向上

フィールド・アクション・セミナーは、学生の対人関係能力向上を目的として2002年度より始めた人間科学部心理コミュニケーション学科の取り組みである。

ここでの対人関係能力とは、

①自分の力を見極める自己分析力
②他人の気持ちを知り、適切な自己表現ができる対人関係力

③学生参加型というより学生主

導型の活動を通じた、積極的、協力的な目標達成プログラム。

④学年が上がるに従って、個人・対人・集団と重点の比率が変化する。

1年次生では自己および対人関係に比重があり、2年次生は対人関係、3年次生は集団に重点を置く。プログラムは、学内(1日)および学外(1泊2日)

(国際人間科学部心理コミュニケーション学科 助教 小牧一裕)

あの顔この顔 旧交温める

「なでしこ会」35周年記念総会



約100人が集まり盛大に行われた女子大同窓会

1期生の大先輩から卒業間もない若々しい後輩達など、懐かしい顔が揃いました。

最後は、あらゆる想いを胸に、9期生の中道雅代様の伴奏で、学園歌を斉唱。盛会のうちに幕を閉じました。

ご出席いただきました諸先生方や会員の皆様方、またご尽力いただきました実行委員長の東妙子様をはじめ、学内・学外の役員の方々に、紙面をお借りしまして心より御礼申し上げます。

(なでしこ会会長 森村利子)

8月1日、ホテル阪急インターナショナル「瑞島」で、『なでしこ会同窓会35周年記念総会』を行いました。

今回の総会は、20周年以来15年ぶりの記念同窓会であり、また女子大としては最後の同窓会となりました。

少し複雑な思いに包まれたものの、嬉しい事に、会場には今もハツツとされた恩師の方々、新婚ホヤホヤ(一)名誉会長奥田吾朗ご夫妻も、お祝いにかつて下さいました。また、

女子大最後の同窓会 盛会のうち閉じる

「うまくできるかな？」紙飛行機作りに励む子供たちとボランティア活動研究会



学園・守口キャンパス周辺の小学生を対象にした、学びかつ遊ぶ、ふれあいサマースクールが、8月10日から13日までの4日間、守口キャンパスで開催された。今年で2回目を迎えるサマースクールだが、今回は前回の5倍以上の申し込みがあり、最終的には70人の小学生が参加

した。同スクールの目的は、地域交流を標榜する学園が行っている秋の恒例イベント、奥田メモリアルフェスティバルに参加した地域住民から寄せられた浄財を活動の原資として、大学・短大のボランティア活動研究会(顧問・世戸俊男教授、部長・古用美紀子)が企画運営、実施

手づくり紙飛行機競争 昼食のカレー作り挑戦 ミニコンサートの観賞 小学生70人楽しむ

しているもの。

開催初日の10日、参加生徒全員が教室に集合。開校宣言のあと、10班に分かれ各班のシンボルとなる旗作りに励んだ。あらかじめ作られた旗の布地に班名と絵文字や寄せ書きを自由に書き込むのだが、班分けは学年ごとにしており、その出来栄は様々。中には、上下逆さまに

笑顔、歓声弾ける

第2回ふれあいサマースクール ボランティア活動研

なってしまう旗もあった。午後はそれぞれの班ごとに大学内を観てまわる校内見学に移り、陣雨の中、笑顔一杯で歩きまわっていた。

2日目は、京阪電車を使って清水八幡宮までの遠足。夏の日差しをものともせず、帰校した時は日焼けした顔で一杯だった。3日目、午前中は紙飛行機作り。出来上がった飛行機を遠くに飛ばす競争を体育館でおこなった後、昼食のカレー作り挑戦。包丁を持って野菜をカット。卵の目玉焼きづくりにとはしゃぐ声は絶え間なかった。

午後は、東町1丁目の松本町会長によるマジックの鑑賞や新聞紙を使つての帽子作りにいそしんだ。最終日の4日目は、ドッチボールで汗を流した後、幻の童謡詩人「金子みすず」の詩集をギター演奏と歌で奏でるミニコンサート(出演 藤山一男・由美夫妻)を楽しむ。全員が「ふれあいサマースクール」の修了証書を世戸先生からひとりずつ受け取り笑顔で一杯の4日間を終了した。

初の混声合唱で 歌う喜び新たに

大学・短大合唱部

守口老人ホームでお披露目



男女が心を一つにして練習の成果を披露した

大学・短大合唱部の学生24人が、8月28日、守口老人保健施設 ラガールを訪れ「第8回ひまわりコンサート」を開いた。企画・指導・演奏は短大幼児教育科 植田光子教授。

これまで、女子のみで合唱編成していたが、男女共学化により男子部員が入部。今回初めて混声合唱としてお披露目をした。「川の流れるように」「憧れのハワイ航路」など、全12曲を歌った部員たちは、施設の人々の反響に、自分達の歌声で人の心を明るくすることができると実感、歌う喜びを新たにしていた。

また、12月18日には鶴見区の老人保健施設 ラガールでクリスマスコンサート行う。

課外活動

国際大

・10/24〜25 国体岡山県代表 山岳 三宅栄臣(人健一)

大和田中・高校

第47回全国硬筆作品展覧会

〈高校〉

個人賞 審査員長賞

個人賞 守口市長賞 桐畑友希

(1) 守口市会議長賞 西浦友美(3)

大阪府PTA協議会賞 加藤千春

(3) 〓勝田晶子(2)、日本芸術振興学会賞 高橋佳代(2) 〓山口琴世(2)、日本書道芸術連盟協議会賞

池 愛雅莉(1) 〓美濃彩加(1)、日本書道教育連盟賞 伊達敦子(2)

〓山出祥尊(2)、全日本青少年書道振興協会賞 宇野葉子(3) 〓土方千恵(2)、大阪市PTA協議会賞

山下知美(3) 〓伊藤ゆう大(1)

〈中学〉

団体賞 大阪府教育委員会賞

個人賞 大阪府教育委員会賞 宮崎友梨(1)、守口市長賞 伊藤弓貴

(2)、守口市会議長賞 岩崎紗也加

(2)、大阪府PTA協議会賞 松波茜(2)、日本芸術振興学会賞 栢田優奈(2)、日本書道芸術連盟協議会賞 浜道 彩(2)、日本書道教育連盟賞 谷口 彩(2)、全日本青少年書道振興協会賞 森本菜津美(1)、井田真奈美(1)、大阪市PTA協議会賞 津川久瑠美(1)

武庫川女子大学主催

全国高等学校書道展(10/13発表 特選賞 土方千恵(2)、勝田晶子(3))

幼稚園絵画表彰

(敬称略)

産経新聞社主催「お父さん頑張れ似顔絵全国コンテスト」(6月20日)

マイカル金賞 穂園智子(さくら組)

大阪労済・全労済大阪府本部創立50周年企画全労済絵画コンクール(7月)

大阪府教育委員会賞 眞浦弘基(すみれ組) 入選 大田 凌(ひまわり組) 〓川原さゆり(ゆり組) 佳作 〓稲田守恭(たんぽぽ組) 〓松浦敬太郎(ゆり組)

大阪府歯科医師会主催第41回 図画・ポスターコンクール(10月3日)

入選 〓西原裕子(ひまわり組) 〓足立ジョージ(マ) 美愛 〓藤川拓巳 〓毛利美友(以上ゆり組)

JR大阪環状線「8020号」に展示(10月1日〜15日)

第18回奥田メモリアルフェスティバル開く

庄野真代さん(歌手)と
花城アリアさん(元宝塚
スター)



熱唱と楽しいトークに会場は魅了された

第18回奥田メモリアルフェスティバルが、11月12日午後6時30分より奥田メモリアルホールで開催された。

メインゲストは、「飛んでイスタンブール」のヒットでNHK紅白歌合戦に出演した庄野真代さん。さらにこの3月宝塚歌劇団を退団し歌手デビューした花城アリアさんのお二人。秋恒例のイベントに客席は満席で、約700名の観客が二人の歌声と会話に酔いしれた。

庄野真代さんは、紅白歌合戦に出場の2年後世界一周旅行に出演。帰国後は、様々な分野で多才ぶりを発揮し、この3月には、法政大学人間環境学部を卒業。現在はナチュラルな生活人としての生き方が多くの女性の共感を得ており、会場は大きな拍手が沸いていた。

昨年か同イベント参加の地元住民(藤田町5丁目ほか8町会・1商店会)に浄財を募っており、第2回目となる今回も総額20万5500円の寄付金が学

20万円
浄財寄せられる
観客800人 歌ど'おしゃべり'堪能

園に寄せられた。同寄付金は、大学・短大のボランティア活動研究会(顧問・世戸俊男教授、部長・古用美紀子)が実施している「ふれあいサマースクール」(学園周辺に住む小学生を対象に大和田キャンパス内での4日間の遊びと学びのイベント、詳細4面)の活動資金として提供されている。

奥田吾朗理事長は挨拶で、地域交流の代表的イベントを支えてくれた参加者にお礼を述べるとともに「ふれあいサマースクール」の実施運営に携わったボランティア活動研究会の学生を紹介し、代表者3人が活動の企画から実施までの苦労話を披露した。



できあがった本を初めて手に取り、喜びのゼミ生ら(9月28日)



協働社会をつくる条例
自治体基本条例、市民参加条例、市民協働支援条例の考え方
松田ゼミ



THE CHAT Ver2.1
「ネット上でのコミュニケーション」の進化
1万部を超えるヒットとなったホラーミステリー『THE CHAT』の続編にあたる。雑誌『ダ・ヴィンチ』(2004年

「協働社会をつくる条例」本

松田ゼミ生が「労作」出版

資料と格闘1年 来年度から教材に

国際大法政経学部

国際大法政経学部の松田啓一教授執筆、そして、そのゼミ生全員と有志が本づくりに参加した『協働社会をつくる条例―自治基本条例・市民参加条例・市民協働支援条例の考え方』が、9月10日、ぎょうせいから出版された。

同書は、協働社会における条例のつくり方とともに、自治の基本条例の水準や到達点をまとめたもの。自治に携わる人々が、条例案文をつくることにのみエネルギーを費やすのではなく、本来の議論や仕組みづくりに時間をかけられるようにとの思いが込められており、学生たちは、

67の条例の全文比較表から成る資料編づくりを行った。資料編は巻末200ページ以上にも及ぶ。単位にはならないが、ゼミ生は3年次秋から4年次秋までの約1年間、研究室に集まって膨大な資料に取り組んだ。

「理論中心の学問ではなく、生の資料を元に、文章の表現等をディスカッションしながら検討しまとめていったことは、たいへんだったが自分にとっても大きなプラスとなった」と、有志として参加した国際大大学院総合社会科学研究所の谷河純さんは振り返る。

「学生たちに思い出が残せてよかった」と松田教授。このよ



公開フォーラムで熱心に討論する各講師

進む少子高齢化社会へ 教育・家庭・仕事を考える 坂東眞理子氏基調講演 公開フォーラム

女性学研究所

大学・短大の女性学研究所(所長・水野勝政教授)主催の公開フォーラムが、10月2日午後2時より奥田メモリアルホールで開かれた。今回のテーマは、「これからの社会と教育・家庭・仕事を考える」で、金子敦郎学長の挨拶のあと、基調講演とパネルディスカッションが行われた。

基調講演は、初代内閣府男女共同参画局長の坂東眞理子氏。パネルディスカッションには同氏のほか教育評論家で臨床教育研究所「虹」所長の尾木直樹氏、本学の橋本義郎教授の3人、コーディネーターは女性学研究所所長、水野勝政教授が務めた。基調講演を受けて少子高齢化が進む社会にあつての教育のあり方、家庭さらに地域社会との関わり方などを中心にディスカッションを展開した。参加者は約130人。

10月号)の「ミステリー・エンターテインメント/注目の新進作家」にインタビュー記事が掲載されるなど、今後の活躍にますます目がはなせない。

独学で写真集出版
檻の中の動物たち
“やすらぎ”切り撮る
OGの倭 明美さん



(ペンネーム ふじたにやあと)を新風舎から共同出版した。価格900円、大阪を中心に大手一般書店で販売されている。

22歳頃から文化教室の写真講座に通った後、独学で撮り続けてきた倭さん。初めての写真集となるこの本では、トラ保護活動をはじめ各地の動物園でボランティア活動に携わりながら、動物たちが檻の中で時折見せる「やすらぎ」の表情を捉えている。7月から8月にかけては、宝塚ガーデンフィールズ内で「ネコ科どうぶつ、ヤッホー!」―楳下 晶&ふじたにやあと二人展―も開催した。

BOOK
大阪国際女子大学
名誉教授
藤木 高嶺(著)

秘境一筋
極上人生
紫雲会出版 1700円

3作目の小説出版
2000年経情卒
根本 孝思さん

◆新刊
○『財務諸表の基礎知識 第3版』
経情講師 朝倉洋子 共著 東京経済出版 3800円
○『9・11テロ後の米国の変容と発展する中国の行動』法政経教授 大矢吉之、金子敦郎、宇山 博、高輝陽、同助教授 塩谷雅弘、同助教授 滝田 豪 経情教授 松田孝一、国際関係研究所助教授 何 成業、共編著 国際大関係研究所 非売品
○『スーパースピリット心理学』心理科助教授 森上幸夫 共著 北大路書房 2625円
○『最新・情報処理のしくみ』コンピュタシステムとネットワーク利

用 経情教授 太田忠一、同助教授 古殿幸雄 共編著、同助教授 岡本容典、同講師 中野幹久、矢島彰 法政経助教授 下條善史、非常勤講師 小林正樹 共著、サイエンス社 1900円
○『ヴェニスからアウシュヴィッツへ』名誉教授 徳永 恂 著 講談社 1260円
○『インクルージョンの時代』北欧発「包括」教育理論の展望」短大部助教授 浅野俊道 共訳 明石書店 2730円
○『外見とパワー』心理コミ嘱託講師 柏尾眞津子 共訳 北大路書房 3360円
○『十と企業政策』短大部国文助教授 小林弘二 共著 晃洋書房

3045円
○『古事記の新しい解説―コタンズキの古事記研究と外国語訳古事記』法政経教授 松井嘉和 編・共著 錦正社 6000円
○『英語辞書への招待』経情教授 島山利一 大修館書店 共訳、3150円
○『変容する東南アジア社会―民族・宗教・文化の動態』経情助教授 小瀬木えりの共著、めこん 3990円
○『セミのぬけがらから見た大阪2000』教諭 中村哲也 共著、大阪教育大学附属高等学校池田校舎 非売品

今のように誰もが海外に行くことができず、海外旅行が夢の世界であり、テロもなく世界が平和だった1960年代をうらやましく思うのと、著者の秘境に対する思いとそこに住む人々への思いやりの時代でも見習うべきであり、世界中の人々と仲良くするには異文化を正しく理解することが大事なこ

ビン・パラワン島の少数民族コノイ族、遊牧民キルギス族などを取材、エベレスト登山隊に同行取材、その後文化人類学を教えるに到るまでの自伝的内容と、冒険的探検を通じて出会った多くの冒険家・登山家のうち、日本を代表する世界的に有名な5人を取り上げ、秘話を語る内容となっている。

とどと感じた。

「好きなことをやり続ける。秘境に挑む」ことが、生涯の夢だったと著者は書いている。「はじめに」の4ページを読んだすぐ、自分自身が10年前、大学に入学した当時の、文化人類学の講義を初めて聞いたときの事を思い出した。夢と希望にあふれ、頑張れば何でも可能だと考えていた。この著書は、忙しく毎日をすごし、夢を追うことを忘れてしまっているすべての人々へのメッセージである。

おもしろく、簡潔に書かれた文章はすらすらと読み、あつという間に読み終えてしまった。大人はもちろん、これから社会に出て行く若者たちに、夢を追いかけることを忘れないために、読んでもらいたい。そしていつか生まれる自分の子供にも読ませたい一冊である。

(大阪国際女子大学人間科学部コミュニケーション学科98年卒業生)株式会社アトラストレック 上武美智

高校生 夢・国際化大いに語る

グローバルマインド賞 論文募集呼びかけ

滝井・大和田の4人 枚方 守口のFM生出演

今年で第17回を迎えた全国高校生論文コンクール「グローバルマインド賞」(学園・毎日新聞社の主催)は、全国の高校生を対象に論文を募集しているが、今回も枚方市・守口市のFM放送局の特別番組「ブラッシュアップ グローバルマインド」を通じて地元高校生に論文応募を呼びかけた。

内容は、本学園の両高校生をはじめ地元の高中生6人が参加し、国際社会を視野にいれ、夢と未来を語る1時間のトーク番組。

守口キャンパスの通学路と京阪大和田駅前商店街一新



インターブロッキング完成

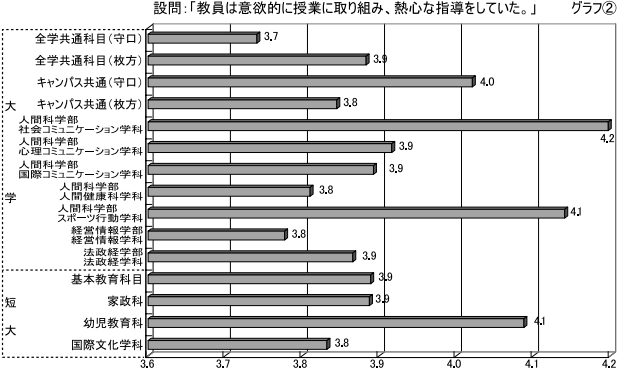
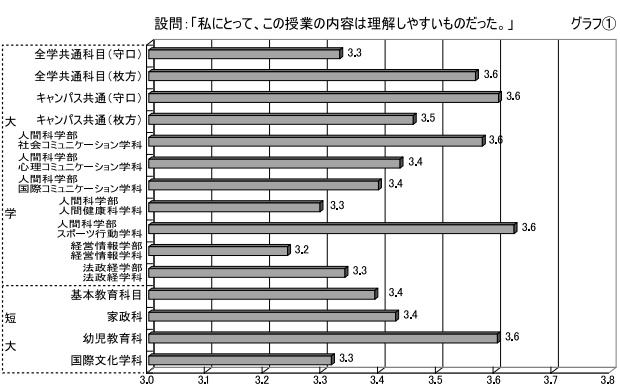
門真市は、京阪大和田駅北駅前広場に接する東西道路(常称寺・宮野3号線の長さ250

駅前ロータリーの改良整備の一環として実施され東西道路はアスファルト舗装だが、商店街の

通りはインターブロッキング舗装のため、カラフルな色合いで商店街の通路は一段と鮮やかになった。

同駅は、大学・短大をはじめ大和田中・高校、幼稚園など守口キャンパスに通う学生生徒園児、教職員や来訪者等が日常的に利用する駅であるため、同通路の改良は学園周辺のイメージアップにもつながり、舗装道路とロータリーの完成によって駅前の美観はさらに整ったものになった。商店街の印象も一層明るくなり、ことに雨の日は歩き易くなったと好評である。

また、同通路の改良に伴い同商店街振興組合は商店街の東西南北の入り口に各1基、合計4基の防犯灯を新たに設置し、10月20日、同通路駅側入口で門真



国際大、短大(女子大を含む)は、前期開講の全ての授業科目を対象に、学生が回答する「授業についてのアンケート」を実施した。

実施科目数は1,130科目、回答総数は36,000枚にも達した。質問項目は全15問で、学生の授業理解度や満足度を測定するものから、教員の意欲、工夫への評価などが含まれている。集計結果は各担当教員に返却し、今後の授業に生かしてもらう一方、カリキュラム改正などの基礎資料として、教務委員会で活用する。

グラフ①は、「学生の授業の理解度」を5段階評価で尋ねた結果で、点数が高いほどその理解度が高いことを示している。

授業についてのアンケート 教員指導に高い評価 前期開講の全科目対象

いずれの学科も「3.0」「どちらとも言えない」を超えているが、特にスポーツ行動学科や幼児教育科など、実習を中心とする学科に理解度の高いことがうかがえる。

グラフ②は、「教員の意欲、熱心な指導かどうか」を聞いた結果で、平均3.9とかなり高い。多少のばらつきはあるが、多くの学生が評価していると見える。近年、大学では自己点検・評価が義務付けられている。本学でも「授業についてのアンケート」を中心に自己点検・評価を進め、その内容についても公開する予定である。

大学学長 金子敦郎
短期大学部学長 奥田吾朗

国際大・短大で実施

【守口キャンパス】

稲本純子▽大桐佳菜子(以上上国コミ2)▽古島明恵▽陳鴻輝

大学守口 課外活動奨励者(資格取得)

平成15年度【守口キャンパス】

松村 歩(スポ行3) [第35回関西学生秋季ソフトボール1部リーグ戦最優秀投手賞、第35回西日本大学ソフトボール選手権大会最優秀選手賞]▽宮 幸代(幼教1) [第35回関西学生秋季ソフトボール1部リーグ戦優秀選手賞]

課外活動奨励者表彰 (敬称略)

平成16年度前期【枚方キャンパス】

荒川 愛▽常徳治人▽野津剛▽南川倫子(以上経情4) 邱月(同3)▽包 青山(同4)

【枚方キャンパス】

経営情報学部 関 颯▽平田拓也▽松下真也▽都 竜也▽中川知弘▽谷村 良(以上2)▽松岡早織▽松嶋克修▽南 亜由美

大学枚方 学業優秀者(経営情報学部)

学業優秀者表彰 (敬称略)

下大輔(以上上国コミ2)▽王 奕(同3)▽陳 嬌穎(同2)▽陳 婕▽包 高娃(以上同3)▽生田有希▽垣内尚子▽北浦加奈恵▽近藤尚香▽中井理恵▽西川恵里▽新田恵里▽濱脇めぐみ▽三角理恵(以上短大幼教2)

大学枚方 課外活動奨励者(資格取得)

短大 課外活動奨励者(資格取得)

▽平田諒子▽柳瀬真紀(以上同3) 稲嶺 あかね(心コミ2)▽青砥菜由▽飯田 綾▽金谷直美▽清 三加代▽西川沙織▽山

大学守口・短大 学業優秀者

菜▽林 愛娟▽南 智之▽寺田竹志(以上3) 栗栖拓馬▽串野晃大▽呂 小珂▽西田康孝▽大久保聡志▽山田博章(以上4)

【守口キャンパス】

人間科学部 心理・社会コミュニケーション学科大石里香▽引田久美子(以上2) 野口聡美▽松波麗子(以上3) 長井亜希子▽古本有希(以上4) ▼同国際コミュニケーション学科北野りえ▽坂本真理子(以上2) 塩坂和恵▽陳 鴻輝(以上3) 相川麻理子▽LE THE DALIAN(以上4) ▼同 人間健康科学科 木村仁美▽福島智江(以上

大学守口 学業優秀者(法政経学部)

▼法政経学部 ▽東 哲也▽堀合善央▽西井亜紗美▽西村 賢▽山田裕子▽山地 均(以上2)▽陳 登才▽黄 曉恵▽梶 絢

ヘッドラインニュース

3/10 大和田幼 3/15 短大	お別れ会 幼教 朝倉 洋教授の音楽講座「朝倉 洋の音楽手帖」の開催案内が広報かどまに掲載	7/22 大学<守口> 7/22 大和田高 8/1 大学<枚方>	観ボランティア明日香」らの活動、奈良新聞に掲載 人権に関する現地学習会 夏期講習期間中のキャリア教育(進路講演会)(23) 広報ひらかた8月号に「学園都市ひらかた推進協議会(6/29)」記事掲載
3/25 大学・短大 4/1 大学・短大 4/1 学園 4/2 滝井高 4/7 滝井高 4/10 大学<枚方>	総合メディアセンターホームページ、リニューアル 辞令交付式 教職員研修旅行 豪総領事館(大阪) 商務官ら来校 ラジオ大阪「桂 歌々志の歩けば道づれ」で、入試・広報部 片山 準係長が第2京阪道路周辺レポート 現代の国際情勢1<法政経学部政治系オムニバス講義>スタート	8/2 大学<守口> 女子大・短大 8/2 大学<枚方> 大和田高 8/2 大学<守口>	ソフトボール部、MBSラジオ「MBSニュースワイドアンクル」で生中継 経情学部「予備演習Ⅱ」リフレッシュ・ディキャンプ 英数コース男子第1学年 夏期学習合宿(〜4) 生涯健康サポートセンター、障害児のプール水泳指導(〜12)
4/14 大学<枚方>	体操教室スタート 英数コース海外修学旅行出発 新人生オリエンテーション 幼教 時森美智子非常勤講師が、大阪日日新聞に幼児教育科夏期研修会でのレクリエーション指導について寄稿 名誉教授称号授与式 トドラードスタート 今年も大きなこいのぼり 春の遠足	8/10 学園 8/11 大学<枚方> 8/11 OIU・短大 8/20 大学<守口> 短大 8/20 大学<守口> 女子大・短大 8/21 短大	藤江宗一大学・短大入試・広報部長兼学園本部広報室長、エフエムひらかたに生出演 広報ひらかた8月号に「エセック経済商科大学院大学との交流(6/30)」記事掲載 第6回高校・大学連絡協議会 第9回日本産業カウンセリング学会、守口キャンパスを会場に開催(〜22) 地域住民「健康教室」スタート
4/14 大和田幼 4/15 大和田中高 4/17 短大	体操教室スタート 英数コース海外修学旅行出発 新人生オリエンテーション 幼教 時森美智子非常勤講師が、大阪日日新聞に幼児教育科夏期研修会でのレクリエーション指導について寄稿 名誉教授称号授与式 トドラードスタート 今年も大きなこいのぼり 春の遠足	8/21 短大 8/26 大学<守口> 8/28 大学<守口>	門真市ルミエールホールミニコンサート「おしゃべりな音楽器たち」に幼教 朝倉 洋教授出演 河合美和さん(02年スポ行卒)『DANCE COLLECTION The3rd』に出演 人間科学部海洋・野外スポーツ実習Ⅰ・Ⅱスタート FM HANAKO『直ちゃんのもりかど探偵団』(13:30〜15:00)に留学生別科生 車 玉華さん出演
4/20 学園 4/22 大和田幼 4/25 大和田高 4/28 大和田中 5/1 滝井高 5/1 滝井高 5/2 大学<枚方> 5/8 女子大	総合学習(エンカレッジ講座)スタート 進路研修(3年) 名誉教授の牧之内三郎氏逝去 吉田聡子さん(03年スポ行卒) 身体障害者野球全国大会で投手デビュー はだし保育開始 春の遠足(1・2年) PTA『定期総会』 日曜参観 生活指導講演会 幼児教育実技研修、人形劇鑑賞 廣澤大介さん(法政経部4)ABCテレビ出演 家政科栄養士コース給食管理実習スタート 自由参観 人健学科レジャースポーツ(夏季)学外研修スタート 小谷真由美さん(52年帝国女子大家政学部卒 株式会社ユニオン精機社長)が「三位一体改革推進列島縦断シンポジウムin京都」でパネル討論、京都新聞掲載 豪・タスマニアのスコッチ・オークバーン・カレッジ生来校(〜8)	9/7 短大<守口> 9/11 大学<枚方> 9/14 大和田中高 9/15 大学<守口> 9/17 大学<守口>	乳幼児の子育て学級で幼教 杉本佳隆教授が講師 枚方市市民大学講座 豪協定校・Geelong Grammar School生4人が来日 夏期幼児教育研修(〜17) 藤木高嶺 名誉教授の『探検家藤木高嶺氏の「楽しく学ぶ民族学」講座スタート
5/10 大和田幼 5/14 滝井高 5/15 大和田中高 5/16 大和田高 5/19 滝井高 5/21 短大・大和田幼 5/24 大学<枚方> 5/25 短大 5/28 大和田幼 5/29 大学<守口> 6/4 女子大	はだし保育開始 春の遠足(1・2年) PTA『定期総会』 日曜参観 生活指導講演会 幼児教育実技研修、人形劇鑑賞 廣澤大介さん(法政経部4)ABCテレビ出演 家政科栄養士コース給食管理実習スタート 自由参観 人健学科レジャースポーツ(夏季)学外研修スタート 小谷真由美さん(52年帝国女子大家政学部卒 株式会社ユニオン精機社長)が「三位一体改革推進列島縦断シンポジウムin京都」でパネル討論、京都新聞掲載 豪・タスマニアのスコッチ・オークバーン・カレッジ生来校(〜8) 後援会総会 豪・ツアーラックカレッジ生来校(〜7/2) 私立大学図書館協会2004年度西地区部会総会、守口キャンパスを会場に開催 国コミ学科「茶道・華道文化」学外授業(担当 高橋美非常勤講師) 塾長説明会 寝屋川市スポーツインストラクター養成講習会の講師にスポ行 世戸俊男教授、井上芳光教授、佐々木弘志助教授(24、29) 第1回人権啓発に関する講演会(教職員対象)	9/17 大和田幼 9/19 大学<枚方> 9/23 大学<枚方> 9/25 大学<守口> 女子大・短大 9/25 大学<守口> 9/29 大学<守口> 女子大・短大 10/1 短大 10/2 大学<枚方> 10/6 大学<守口> 10/9 大学<枚方> 10/10 大学<枚方> 10/12 大学<枚方> 10/14 大学<枚方> 10/24 大学・短大 10/30 学園・滝井高 10/30 大和田中・高 大学<守口> 11/1 滝井高校 11/1 大和田中・高 来校(〜12) 加・グレイベンハースト高生来校(〜12/10)	入園説明会 カーセンサー関西版に法政経学部事務局 矢野裕之係長、キャプテングロービーと共に登場 保護者懇談会に110世帯参加 保護者懇談会に大学約101世帯、短大83世帯(概算)参加 ホストファミリー対象教養講座 高等教育開発推進センター第1回情報交換会 芸能プロダクション所属の木子百恵さん(03年国コミ卒)JR西日本の印刷物に登場 全国スポーツ・レクリエーション祭に枚方図書館 渡辺洋係員、ソフトバレーボール大阪府代表で出場(〜5) キックオフイベント(守口キャンパス)に大学3年次生約180人参加 国際関係研究所教養講座「現代日本の漢字文化―日常生活と漢字」 大学祭協賛 公開講演会(枚方キャンパス) 法政経学部国際理解・交流コースプロジェクト―海外ボランティア・海外事情連続講演―(3回シリーズ) 上木原光一郎さん(98年政経卒)営業職と起業のイベントにゲスト出演 大学祭協賛 公開講演会(守口キャンパス) 教育講演会『登校しにくい生徒の心の読み方とトラウマの解消』 保護者・教職員合同懇親会 国コミ「国際社会と日本文化Ⅱ」お茶会体験と細見美術館見学(担当 高橋尚美非常勤講師) 国際科一泊英語合宿(〜2) 加・セント・ミルドレッド・ライトボーン・スクール生来校(〜12)

西日本大学選手権



全日本選手権3回戦で日本体育大学に先制のタイムリー!(8月28日)

全日本健闘ベスト8

大学・短大ソフトボール部は、鳥取県大山町で行われた第36回

西日本大学選手権大会に、3連覇を目指して18回目の出場を果

ソフトボール部惜しくも連戦敗退

たした。愛媛短期大学、神戸親和女子大学、龍谷大学を破り8月10日の決勝に進出。惜しくも大谷女子大学に0-1で敗れ準優勝となった。

また、続いて静岡県で行われた文部科学大臣杯第39回全日本大学女子ソフトボール選手権大

大和田中学が2連覇 女子バレー 大阪秋季大会

大和田中学のバレーボール部(女子、顧問 木村正章教諭)は、今年も着実に勝利を重ねて

春季北河内バレーボール大会10季連続10回目の優勝(4月29日、大阪府私立中学校総合大

会準優勝(9月20日、北河内地区秋季総合体育大会(9月23日)11季連続11回目の優勝。そして、10月9日には、大阪中学校秋季総合体育大会2年連続2回目の優勝を果たし、3年生の引退に花を添えた。



2年連続優勝を果たした大阪総体

5年連続で12回目 インターハイ出場 滝井高校バレーボール部

滝井高校バレーボール部(女子、監督 才崎哲次教諭)は5年連続12回目のインターハイ出場を果たした。大阪府予選では、決勝リーグ3戦をすべて2-0で勝ち優勝。7月16日に守口市長を表敬訪問し、全国大会出場決定を報告、激励を受けた。島根県で行われた全国大会では、8月2日に、予選グループ戦を勝ち抜き決勝トーナメント進出した。3日、西日本短大付属高校(福岡)に1-2で敗れ、残念ながら上位進出はならなかった。

ラクロスOB総会



バーベキューで親睦を深めた歴代ラクロス部メンバーたち

6月19日、大学・短大のラクロスOB総会が盛大に開催された。枚方キャンパスに、男女ラクロス部それぞれ創設以来の卒業生や現役部員たちとその家族総勢100人以上が集まり、バーベキュー大会で親睦を深めた。

また、3年生の桜間友梨さん、東谷幸子さん、小川由希子さんは、JOCジュニアオリンピックカップ第十八回全国都道府県対抗中学バレーボール大会(主催・日本オリンピック委員会、日本バレーボール協会、読売新聞社等)の大阪北選抜メンバーに選ばれ、9月6日、大阪市北区のギャラリィよみうりで結団式が行われた。本学から同大会メンバーに選ばれるのは3年連続。桜間さんは大阪北選抜のキャプテンの大役も務め、「日々努力し、チームワークを作り優勝できるように、元気と明るさを」とりえにがんばっていた。大会は12月25日から28日まで、府立体育会館(浪速区)と大阪市中央体育館(港区)で行われる。

国際大・女子大・短大 ソフトボール部

1・10面でも紹介

・5/5 春季関西学生1部リーグ(女子) 6勝2敗4位
・10/16 秋季関西学生1部リーグ(女子) 2勝5敗6位

・4/30 天皇杯・皇后杯 黒鷲旗全日本バレーボール選手権(女子) 出場

・5/30 関西大学春季リーグ戦1部リーグ(女子) 5勝2敗2位
・7/3 西日本バレーボール大学女子選手権大会ベスト8

・9/26 関西大学秋季1部リーグ(女子) 4勝3敗3位

・5/30 関西学生トーナメント準優勝

・6/13 第16回ラクロス国際親善試合関西選抜

・4/14 大阪学生対校選手権女子の部総合2位▽10000m 岡副真実(人健4) 2位▽走高跳 児玉里穂(スポ3) 3位▽三段跳 児玉里穂 3位

・5/3 日本グランプリ第4戦・静岡国際大会兼アテネオリンピック日本代表選手選考競技会 出場 200m 加茂有希子(同4)▽走高跳 児玉里穂

・7/2 天皇賜杯日本学生対校選手権 兼オリンピック代表選手選考競技会出場 4×100m R 加茂安希子(同4)、加茂有希子、川西亜季(同2)、児島美穂(同1)

対抗中学バレーボール大会(主催・日本オリンピック委員会、日本バレーボール協会、読売新聞社等)の大阪北選抜メンバーに選ばれ、9月6日、大阪市北区のギャラリィよみうりで結団式が行われた。本学から同大会メンバーに選ばれるのは3年連続。桜間さんは大阪北選抜のキャプテンの大役も務め、「日々努力し、チームワークを作り優勝できるように、元気と明るさを」とりえにがんばっていた。大会は12月25日から28日まで、府立体育会館(浪速区)と大阪市中央体育館(港区)で行われる。

47秒67チームベスト▽走高跳 児玉里穂▽4×400m R 前川加奈(人健2)、布谷宏子(スポ4)、田丸ゆかり(同2)、田辺陽香(同3)

・8/29 近畿選手権 兼日本選手権近畿地区予選会 7種競技 中村有里(同3) 5位

・9/10 秩父宮賜杯西日本学生対校選手権(西日本インカレ) 走高跳 児玉里穂6位

・9/25 日本学生ジュニア選手権 走高跳 児玉里穂 優勝▽出場 400m 加茂有希子▽走高跳 磯谷七恵(経情4)▽1000m 高橋大地(人健1)

・10/25 関西学生陸上競技学年別選手権 1000m 3・4年 加茂安希子 3位▽8000m 1・2年 絵理奈(スポ1) 3位▽8000m 3・4年 野々村ふみ 優勝▽15000m 3・4年 森西知加(同4) 3位▽走高跳 3・4年 磯谷七恵 優勝▽同 笠井邦子(同4) 2位

・10/27 国体京都府代表 走高跳 児玉里穂 9位

・7/22 近畿高校バレー優勝大会ベスト4

・8/22 国体大阪府代表 大西唯▽池田 渚▽伊藤彩子▽新井麻美(以上3)▽監督 才崎哲次

・9/26 第9回全国私学大会出場 権獲得

・9/5 守口大会団体杯3位

・9/12 大阪高校総合体育大会予選リーグ優勝、中央大会進出

・3/23 第11回ニューサウンドコンサート

・7/30 大阪府吹奏楽コンクール北地区大会出場A組の部、B組の部銅賞

・8/13 花博咲くやこの花館トワイライトコンサート

・9/12 大阪府マーチングコンテスト銀賞

・10/2 大阪府私立中等学校芸術文化祭

大和田高校ソフトボール部

・3/26 30 全国私立高校女子選抜大会2部トーナメント2回戦敗退

・8/24 17 第15回記念近畿私立高校女子選抜大会上位トーナメント進出

・9/20 大阪私立高校秋季大会準優勝

・10/11 大阪高校総合体育大会優勝

・10/24 国体大阪府代表 加藤千春(3)

バレーボール部

・4/18 春季大会兼大阪高校選手権大会一次予選 部別大会 2勝1敗一部昇格

・8/2 13 大阪高校総合体育大会東地区ベスト8

・6/20 全国高校剣道大会大阪府予選団体ベスト8

・7/18 19 近畿高校剣道大会出場

・7/24 16 玉竜旗高校剣道大会出場

・8/17 大阪高校総合体育大会団体ベスト8

ソフトテニス部

・4/25 29 大阪高校春季大会4ブロック予選会 第3位 山元瑞萌、森本綾(2)

・5/30 守口市市民体育大会 個人戦 第3位 那部麻奈美、森本綾(2)

・7/18 総合体育大会 4ブロック予選会 第5位 山元瑞萌、森本綾(2)

・8/22 東大阪市市民大会 団体戦ベスト8

・8/28 新入大会 4ブロック予選会 優勝 山元瑞萌、森本綾(2)

・9/5 守口市市民体育大会 団体戦 優勝 山元瑞萌、森本綾(2)、平川彩加、小篠静佳(1)、國司江利加、網 朋子(1)

・10/11 新入中央大会 ベスト32 山元瑞萌、森本綾(2)

吹奏楽部

・7/30 大阪府吹奏楽コンクール北地区大会A組の部銀賞

大和田中学バレーボール部

・7/26 第54回大阪中学バレーボール優勝大会(近畿大会予選)ベスト4

平成17年度 入試日程 学生・生徒募集要項

		選考種別	出願期間	選考日	合格発表日	入学手続期間
修士課程	二次	経営情報学研究科	1月31日(月)～2月4日(金)	2月15日(火)	2月18日(金)	2月21日(月)～25日(金)
		総合社会科学研究科		2月12日(土)		
	博士(後期)課程 ※経営情報学研究科のみ		1月31日(月)～2月4日(金)	2月15日(火)	2月18日(金)	2月21日(月)～25日(金)

大阪国際大学

経営情報学部・法政経学部・人間科学部	選考種別		出願期間（消印有効）	選考日	合格発表日	入学手続期間（必着）
	一般	留 学 生（内 部）	1 月 7 日（金）～17 日（月）	1 月22 日（土）	2 月 6 日（日）	2 月 7 日（月）～10 日（木）
		一 般 A 方 式	※ 1 月13 日（木）～21 日（金）	1 月29 日（土）・30 日（日）		
		セ ン タ ー 利 用 I 期		独自試験なし		
		一 般 B 方 式	2 月26 日（土）	3 月 5 日（土）	3 月 7 日（月）～11 日（金）	
		セ ン タ ー 利 用 II 期	独自試験なし			
		留 学 生 2 次	2 月 2 日（水）～16 日（水）			2 月26 日（土）
		一 般 C 方 式	※ 3 月 1 日（火）～ 8 日（火）	3 月13 日（日）・14 日（月）	3 月19 日（土）	3 月22 日（火）～25 日（金）
		セ ン タ ー 利 用 III 期		独自試験なし		
	編 入	内 部 編 入 II 期	1 月13 日（木）～21 日（金）	1 月30 日（日）	2 月 6 日（日）	2 月 7 日（月）～10 日（木）
		内 部 編 入 III 期	2 月10 日（木）～18 日（金）	2 月26 日（土）		
		指 定 校 編 入 II 期				
		一 般 編 入 II 期				
		社 会 人 編 入 II 期				
		留 学 生 編 入 2 次	2 月 2 日（水）～16 日（水）	3 月 5 日（土）	3 月 7 日（月）～11 日（金）	

選考種別		出願期間	選考日	合格発表日	入学手続期間
推薦	Ⅲ期				
一般		※1月13日(木)～21日(金)	1月29日(土)・30日(日)	2月6日(日)	2月7日(月)～10日(木)

※一般入試の上記出願期間については、期間最終日が金曜日の場合は翌週月曜日、それ以外の曜日の場合は翌日に限り守口キャンパス持ち込みのみ受け付ける。

		出願期間		選考日	合格発表日	入学手続日	
大阪国際滝井高等学校	普通科	アカデミック(標準)コース チャイルドケア(幼児保育進学)コース ナーシング(看護進学)コース エクセレント(特進)コース		平成17年1月24日(月)～1月29日(土)	2月10日(木) 2月11日(金)	2月12日(金)	2月18日(金)
	国 際 科						
大阪国際大和田高等学校	普通科	理数コース・英数コース 国際コース・教養コース		平成17年1月24日(月)～2月1日(火)	2月10日(木) 2月11日(金)	2月12日(土)	2月17日(木)
大阪国際大和田中学校	特進一貫コース	一次	Λ	平成16年12月20日(月)～24日(金)	1月22日(土)	1月23日(日)	1月26日(水)
			13	平成17年1月6日(木)～21日(金)	1月23日(日)	1月24日(月)	
	国際コース	二次	Λ	平成17年1月11日(火)～24日(月)	1月24日(月)	1月25日(火)	1月28日(金)
			13	平成17年1月11日(火)～25日(火)	1月25日(火)	1月26日(水)	

大学短大 17年度入試展望



様々な体験メニューで在学生や教職員と交流できるオープンキャンパス。写真は「クイズで理解、法政経！」(8月3日、校方)

参加者の約4割が出願(指定校・推薦)

2年早まった「全入時代」の脅威

このたび文部科学省が、試算の結果、大学・短大への志願者と定員がほぼ同じとなる全入時代が2年早まり平成19年度に到来すると予測を修正したと報じられた。今年度の入試が平成17年度に当たるわけだから、本学のみならず私立大学は、その脅威が早まったことに焦りの色が隠せない状況ではなからうか。高等学校も進学指導では大学・短大選択を入試倍率ではなく、生徒自身の夢を叶えることができる大学と、全入時代の先取りでもあるかのように、学問分野、就職や資格取得など中身を重視する指導に切り替わって

盛況オープンキャンパス

大学・短大2400名参加

いる。高等学校で行われる進学説明会も、個々の大学説明から学問体系別の模擬授業や就職先説明会などに趣向が変化してきており、加えて1・2年生対象が増加している。そのためか、大学や短大が一堂に会して行われる進学説明会には、1・2年生も相談に訪れており、逆に8月中旬以降は3年生の参加が以前に比べて減少してきた。進学先決定の時期が早期化している

ことを実感している。このような状況下でこそ、本学は持ち味を発揮できると発奮している。今年度も昨年同様に両キャンパスで計7回のオープンキャンパスを実施した。9月に実施した6回目の入場者数は、高等学校の文化祭や体育祭と重複したと考えられる為、前年を下回りましたが、その他は昨年度並みの入場者数を確保いたしました。18歳人口が減少した中では、善戦したと評価している。というのは、オープンキャンパスに参加した3年生のうち、早期に実施する特別推薦入試や公募推薦Ⅰ期に出願した者が38・7%を超えたことである。前述したように高校進路担当の指導は、大学の中身を問うもの

である。まさしく、オープンキャンパスは、入試倍率や入学案内などの外見でなく、大学・短大を受験生にさらけ出すイベントである。そのイベントで受験生は本学を選んでくれたことに誇りを持ちたい。これからが入試の本番である。入試判定成績上位2位までの者に、20万円の奨学金給付や大学のみであるが専願有利の入試も継続して実施している。この「全入時代」を目前にして、厳しい現実を直視し、これからも教職員一丸となって真に魅力ある大学作りにまい進する所存である。

大学・短大入試広報部 課長 塚本 和宏

岡千明▽沈 玉均▽横尾 愛▽同2 藤原将吾▽小森裕史▽松木英哉▽光富敬祐▽宮野智暢▽村上真也▽村山恵介▽大迫栄二▽大渡敦夫▽阪上道生▽高屋慶成▽植田知美▽鷲尾貴士▽同1 山下潤紀▽法政経3 山根恵梨香▽同2 東 哲也▽同1 山本真也

◆国際大(守口)・短大英検準1級 (7月11日実施)
国コミ3 陳 鴻輝
TOEIC500点以上 (9月19日実施)
社会コミ4 長井志保
(5月15日実施団体試験)
国コミ4 桐原加奈▽梅本梨恵▽同3 陳 鴻輝▽柳瀬真紀▽古島明恵▽平田諒子▽同2 飯田 綾▽山下大輔▽稲本純子▽青砥来由▽竹中 崇▽入健2 木棚佳菜子▽短大国文2 田中美奈

フープロ検定3級 (5月15日実施)
短大国文2 石野史子
(7月3日実施)
心コミ3 清水明日香▽同1 田井中久史▽津熊さおり▽国コミ2 石東麻伊子▽入健2 山田 伸▽短大家政1 強力友里▽西山春奈▽若杉さゆり▽短大国文2 阿南栄美▽同1 山下 歩▽沢田恵美▽竹邑佳純

秘書検定2級 (6月27日実施)
国コミ4 矢埴真季▽心コミ3 小池彩恵▽鈴木紀子▽同1 山下祐理子▽短大家政2 岡本明子▽河野良枝▽同1 楠瀬有里▽伴田真弓▽短大国文2 田村恵美子▽東部七瀬▽同1 牧野夏季▽加藤恵理▽児玉有美子▽田中優奈

◆滝井高校漢検2級 (6月18日実施)
3年 中 智恵
同準2級 (6月18日実施)
3年 石田亜香▽小泉真祐子▽田中位昌▽橋本綾▽宮本直美▽霜村わかな▽中村優生▽宮本夕貴▽山本雄子▽長村紗那香▽田中麻貴▽辻 香織▽千岸田 一野▽福岡しおり▽文岡真梨奈▽伊藤紘未▽桑原恵梨那▽瀬戸山 悠▽中村美也子▽中本久子▽長田朋子▽野口瑞穂▽原田実▽三宅智子▽大塚未来▽河西紗恵子▽小暮樹里▽福田麻衣▽保田麻里▽田中祥子▽

このよう状況下でこそ、本学は持ち味を発揮できると発奮している。今年度も昨年同様に両キャンパスで計7回のオープンキャンパスを実施した。9月に実施した6回目の入場者数は、高等学校の文化祭や体育祭と重複したと考えられる為、前年を下回りましたが、その他は昨年度並みの入場者数を確保いたしました。18歳人口が減少した中では、善戦したと評価している。というのは、オープンキャンパスに参加した3年生のうち、早期に実施する特別推薦入試や公募推薦Ⅰ期に出願した者が38・7%を超えたことである。前述したように高校進路担当の指導は、大学の中身を問うもの

である。まさしく、オープンキャンパスは、入試倍率や入学案内などの外見でなく、大学・短大を受験生にさらけ出すイベントである。そのイベントで受験生は本学を選んでくれたことに誇りを持ちたい。これからが入試の本番である。入試判定成績上位2位までの者に、20万円の奨学金給付や大学のみであるが専願有利の入試も継続して実施している。この「全入時代」を目前にして、厳しい現実を直視し、これからも教職員一丸となって真に魅力ある大学作りにまい進する所存である。

大学・短大入試広報部 課長 塚本 和宏

岡千明▽沈 玉均▽横尾 愛▽同2 藤原将吾▽小森裕史▽松木英哉▽光富敬祐▽宮野智暢▽村上真也▽村山恵介▽大迫栄二▽大渡敦夫▽阪上道生▽高屋慶成▽植田知美▽鷲尾貴士▽同1 山下潤紀▽法政経3 山根恵梨香▽同2 東 哲也▽同1 山本真也

◆国際大(守口)・短大英検準1級 (7月11日実施)
国コミ3 陳 鴻輝
TOEIC500点以上 (9月19日実施)
社会コミ4 長井志保
(5月15日実施団体試験)
国コミ4 桐原加奈▽梅本梨恵▽同3 陳 鴻輝▽柳瀬真紀▽古島明恵▽平田諒子▽同2 飯田 綾▽山下大輔▽稲本純子▽青砥来由▽竹中 崇▽入健2 木棚佳菜子▽短大国文2 田中美奈

フープロ検定3級 (5月15日実施)
短大国文2 石野史子
(7月3日実施)
心コミ3 清水明日香▽同1 田井中久史▽津熊さおり▽国コミ2 石東麻伊子▽入健2 山田 伸▽短大家政1 強力友里▽西山春奈▽若杉さゆり▽短大国文2 阿南栄美▽同1 山下 歩▽沢田恵美▽竹邑佳純

秘書検定2級 (6月27日実施)
国コミ4 矢埴真季▽心コミ3 小池彩恵▽鈴木紀子▽同1 山下祐理子▽短大家政2 岡本明子▽河野良枝▽同1 楠瀬有里▽伴田真弓▽短大国文2 田村恵美子▽東部七瀬▽同1 牧野夏季▽加藤恵理▽児玉有美子▽田中優奈

◆滝井高校漢検2級 (6月18日実施)
3年 中 智恵
同準2級 (6月18日実施)
3年 石田亜香▽小泉真祐子▽田中位昌▽橋本綾▽宮本直美▽霜村わかな▽中村優生▽宮本夕貴▽山本雄子▽長村紗那香▽田中麻貴▽辻 香織▽千岸田 一野▽福岡しおり▽文岡真梨奈▽伊藤紘未▽桑原恵梨那▽瀬戸山 悠▽中村美也子▽中本久子▽長田朋子▽野口瑞穂▽原田実▽三宅智子▽大塚未来▽河西紗恵子▽小暮樹里▽福田麻衣▽保田麻里▽田中祥子▽

2年 金子ゆりか
全商フープロ実務検定1級 (6月29日実施)
3年 瀬戸山 悠
同2級 (6月29日実施)
3年 霜村わかな▽佐伯美樹恵▽阪口香代▽長田朋子▽八木千尋▽2年 松野愛生▽一ノ瀬理沙▽谷辻真実

英検2級 (7月11日実施)
3年 運天香保里

◆大和田高校漢検2級 (6月20日実施)
3年 石本純子▽2年 飯田萌絵
(8月23日実施)
3年 三本木早苗▽境 麻里奈▽中村 絢▽2年 田中千晶▽山中晴加

同準2級 (6月20日実施)
3年 川西祐子▽山本侑枝▽馬本順子▽小倉和加奈▽境 麻里奈▽小山琴弓▽植田 舞▽村上晴香▽渡辺里紗▽中村 絢▽2年 宮本ひとみ▽山本真衣▽藤本 茜▽高橋敏彦▽山下真央▽土井依子▽小林さやか▽木村直世▽原 尚子▽大西沙奈▽前川愛美▽政木 彩▽前田絵里奈▽山中晴加▽1年 林真伸

(8月23日実施)
2年 山口静佳▽山田奈緒美▽牧野絵理▽清水未菜▽和田真由美▽石川絵美▽喜多悦子▽中村 萌▽山下愛美▽末永さつき▽1年 加藤千佳▽樋下美紗▽三嶋しいな▽岳山 碧

英検2級 (7月11日実施)
3年 川岸紗知▽梅田祐紀▽矢田智子▽中西 萌▽平野真理子▽堀田真由▽真崎早矢香▽岩本和也▽橋本浩一▽吉田直樹▽一瀬 彩▽木村真智子▽新城 葵▽中原綾香▽西垣有紀▽貫名由紀子▽前村仁美▽松原愛美▽森川美沙▽吉村友子▽2年 小川昌希▽山下 香

◆大和田中学漢検準2級 (6月20日実施)
3年 石原絵理▽白内崇貴▽綱中正樹▽松村有将

英検準2級 (7月11日実施)
3年 新 あかり▽今村奈菜子▽大前幸子

キャリアセンター

積極活用しよう

大学・短大

追加求人が増加 皆を企業が待っている



内定者のパネルディスカッション等キックオフイベントで応援

われる。

しかしながら、厳選採用の条件は変わらず、内定を得られる学生の就職活動は長期化している。キャリアセンターの方針として、「全体指導」に加えて数年前より「個人面談」を強化し、やりたい仕事や自分自身のアプローチの仕方など個々にあった指導を行ってきた。

その結果9月末時点での面談率は大学では73・1％短大では86・0％となり内定率も昨年度（9月末現在）と比較して大学

3・7％短大7・9％上昇した。今年度キャリア教育に対する教学の取り組みとして大学ではキャリア講座が開設され、短大も「社会生活の基礎」が4年目を迎えた。

また、キャリアセンターでは学内の雰囲気作りや就職活動のきっかけづくりのためのキックオフ・イベントの開催、短大においても来年4月に同様に開催予定であり全学で学生の就職活動をサポートする体制ができてきた。

キャリアセンター（守口）

係長 吉川 浩美

今年度は、企業業績の復調を受けて、内定状況も昨年度に比べ若干高めに推移している。

また、倫理憲章共同宣言の影響もあったと思われるが、4月以降に面接が集中し結果的に採用予定数を充足できなかった企業が出たこと、中堅企業でも内定辞退者が予想外に出たこともあり、追加求人が例年よりも多いことが今年度の特徴であろうと思う。

本学の学生の動きをみると進路・就職に関して真摯に取り組む学生がいる一方で、将来の展望を見出せず、結果的に無為に

個人面談、内定率共にアップ

16年度の就職中間報告

求人数数も増える

平成16年度も下半期となり、就職活動も終盤戦を迎えようとしている。景気は若干ではある

が、向上きとなり本学においても求人数は増加しており企業の採用意欲は高まっていると思

大学・短大



参加体験記

当たり前の事の大切さ学ぶ

ケイネット楽天市場店
国際大経営情報学部3年次生

西山 圭子

私は、今回のインターンシップで、昔から興味があったインターネットショップの運営（楽天市場KINNET）にたずさわる事が出来、とても貴重な体験が出来たと嬉し

大学・短大のインターンシップには、今年度は59社に学生計121人（枚方14人、守口107人）が参加した。京都コンソーシアムの難関枠を突破した学生も含め、多くの学生が大学を飛び出してチャレンジ。貴重な体験を今後の就職活動に活かしてほしい。

本場で学ぶロシア演劇

今、私は大阪外国語大学でロシア演劇の研究をしています。

2003年の9月からロシア教育省の招待留学生として、1年間モスクワのプーシキン大学に留学していました。ロシア語力の強化に励みつつ、研究のためモスクワで最古のドラマ劇場である国立アカデミーマールイ劇場に通いました。

この劇場の芸術監督であるユーリー・ソローミン氏は自身がオスカーを持つ俳優であり、エリツィン時代には文化大臣を務めていました。私は彼が演出をするチェーホフの稽古に参加させてもらい、戯曲解釈から演技論に至るまで貴重なアドバイスを頂きました。

ある演出家の方は、ロシア人は今政治・経済的にも文化的にも一体どんな国に生きているのか分からない状態にあるので、劇作家たちの高い思想を自分たち演劇人が提供しないといけないと言っておられ、日本にも通じるアイデンティティーの不在という大きな問題に立ち向かう演劇の役割と高尚な目的意識にとっても感銘を受けました。

私はこれからロシアの演劇教育システムに本格的に取り組み、できればそれを率先して日本に取り入れていきたいと思っています。

OB・OGレポート

めざすは整形外科医 リハビリテーション科勤務の日々

今年の6月まで枚方の星ヶ丘厚生年金病院に勤務し、7月から堺の大阪労災病院でリハビリテーション医として働いています。前の病院で主に整形外科医として働いていたので、手術に追われる日々でした。今は手術がほとんどなくなり、代わりに外来患者の対応の毎日です。リハビリテーション科は、種々の疾患で障害を持った方が、医学的治療後の社会復帰を目指し支援する科です。スタッフは医師、理学療法士、作業療法士、言語療法士、看護師、ケースワーカー、ソーシャルワーカー、義肢装具士等がいます。これらのスタッフが集まり情報交換をして方針を決めています。診療以外は学会発表や研究会発表があり、準備は大変ですが、いろいろな場所で様々な話を聞けるのが楽しみでもあります。今は整形外科の専門医を目標にしていますが、まだまだその中の専門を決めなければならず、また勉強と進路に悩まされています。この先1、2年ごとに転勤が続くのでどこかでまた皆さんにお会いするかもしれませんが、そのときは遠慮なく声をかけてください。

大阪国際大和田高校 '95年卒
奈良県立医科大学医学部卒
大阪労災病院 リハビリテーション科

竹安 西佳倫

実社会の厳しき肌身で痛感

MBS企画

国際大心理コミュニケーション学科
3年次生 齋藤 美香

私が研修で行った「MBS企画」では番組の収録に参加させてもらいました。番組を制作するにあたって一番大切なのは、スタッフや出演者とのコミュニケーションがうまくいくことです。番組の収録は、緊張感があります。そして今のうちにチャンスがある限り、いろいろな経験を



感じました。私たち学生は、話

し合いの時でも、意見を求められてもあまり答えられない人が多いけれど、社会ではそのようなことは許されないのだと知りました。番組を制作するのは、個人の力も大切ですが、なによりもチームワークが重要なもので、チーム一つとなって制作されるのだと教えられました。

テレビ業界などは、一見、華やかで楽しいという見られ方をされていますが、今回の体験から、その裏では生活面や健康面で厳しく律している部分があると実感しました。学生生活と社会人となつて働く生活の違いがわかり、今の私たち学生はどれほど温かい環境で生活しているかがわかりました。また、社会に出る前に、学生のうちに来ることを遊びなどから通して学ぶといいと、アドバイスをもらいました。今の時間を有効に使い、後悔しないように沢山の経験と知識を身に付けようと思っています。

大阪国際学園 CALENDAR

大阪国際大学 (枚方キャンパス)

12.22 後期中断
平成17年
1.7 後期再開
1.18 授業日（後期終講）
1.19 補講～25
1.26 後期試験～2.8
2.9 集中講義～22
2.23 追・再試験～28
3.18 卒業証書・学位記授与式

大阪国際大学 大阪国際女子大学 大阪国際大学短期大学部 (守口キャンパス)

12.22 後期中断
平成17年
1.7 後期再開
1.18 授業日（後期終講）
1.19 補講～25
1.22 補講調整日
1.26 後期試験～2.8
2.9 集中講義～22
2.23 追・再試験～28
3.22 卒業証書・学位記授与式
3.23 卒業証書授与式

大阪国際滝井高等学校

12.17 保護者会～21
12.22 授業終了日
平成17年
1.11 授業再開日、学年かるた会
1.26 学年末考査～31（3年）
1.31 授業修了（3年）
2.7 マラソン大会
2.23 卒業式予行、表彰状授与式
2.24 卒業証書授与式
3.3 学年末考査～8
3.5 進路保護者（2年）
3.24 終業式

大阪国際大和田高等学校 大阪国際大和田中学校

12.18 海外研修説明会（中学）
12.20 イングリッシュフェスティバル（中学）
12.24 終業式
12.21 スケート講習会（中学）
平成17年
1.8 始業式
1.12 スキー学習～14（中学）（1、2年）
1.20 合同集会（高校）
1.22 カルタ会（高校）
1.27 カルタ会（中学）
1.31 授業終了（高校）（3年）
2.17 学年末考査～19（中学）（3年）
2.25 卒業式予行（高校）
2.28 卒業式（高校）
3.1 学年末考査～3（中学）
3.3 学年末考査～9（高校）
3.4 卒業式予行、送る会（中学）
3.5 卒業式（中学）
3.11 海外研修～22（中学）
3.19 終業式

大阪国際大和田幼稚園

12.17 お楽しみ会
12.24 終業式
平成17年
1.11 始業式
2.3 豆まき
2.26 生活発表会
3.3 平成17年1日入園
3.4 個人懇談会～8
3.10 年長お別れ会～11
3.19 保育修了証書授与式
3.24 終業式
毎月第2、4木曜日 園庭開放 創作活動

華やぎ、輝いたキャンパス

今年も大学祭・文化祭・運動会など、秋のイベントで各キャンパスは華やぎを見せた。学生・生徒・園児・人ひとりが、自分たちの力で輝き、若さを爆発させるこの季節。大切な時を胸に、次のステップを踏み出すことだろう。

国際大枚方キャンパス大学祭の今年のテーマは「彩(いろどり)」。

大学祭を創りあげる全ての人が、いろんな個性や感性などを持ち寄り、彩りのある祭りにしたいとの思いが込められている。一方、守口キャンパスの優花祭のテーマは「未来(さき)へ進もう!」。

大学の統合2年目を迎え、新鮮な気持ちで新しいものに挑戦していくことの大切さを訴えた。

学生たちの、自分たちで大学生活を充実させたい、何かをつかみたい、という息吹を感じさせられた今回の大学祭。新生・国際大・短大は、学生たちに命を吹き込まれようとしている。

また、全学年に男子を迎えるの大和田中・高校は、共学化を強くアピールするなど、高校でも、それぞれのテーマで文化祭が盛り上がり、幼稚園でも運動会で、日頃の成果を力いっぱい披露した。



秋の運動会
大和田幼稚園 (10/12)

明るい社会と平和求めて 滝井高校 (10/23・24)



「うまく焼けるかな?」おいの「シャボ」も決まっています



↑広いグラウンドでのびのびと駆け回り、演じる園児たち



↑背筋をのびして三味線を披露

優花祭 守口キャンパス (10/23・24)



Festival O.I.U. 2004 枚方キャンパス (10/10)



枚方キャンパス
↑台風の影響で1日だけの開催となった。ステージ企画も凝縮したもの。白鳥のエネルギーをぶつけて盛り上がった。毎年地元の子供たちにも人気。学生たちの声や表情も自然に優しくなる。

守口キャンパス
↑奥田メモリアルホールでのステージ発表ではじける学生たち



枚方キャンパス
↑エンディングでは「彩」をテーマにした打ち上げ花火が夜空を飾った
←卒業生もかけつけラーメン屋を出店。その名も「黒蝶」

Realize Your Dream! 夢を叶えよう 大和田中学 (9/26)



→大きな拍手が起きたオープニング
みせた

大和田の中心で青春を叫ぶ 大和田高校 (9/12)



→「いらつしやいませ」みんなに素直な表情
→取組みはクラスの結束力を強くした



How to business simulation



大学祭特別企画、
手作りの「カフェ」
オープン

国際大枚方キャンパスで、大学祭特別企画として実施された「How to business simulation」。大塚裕士さん(法政経4)が、自らの学生生活、就職活動を振り返り、在学中に社会人になるための1歩を身をもって経験する機会を後輩達に形として残せたら、との思いで、5月からスタートした。

大学祭での出し物はCafe。しかし、人材集め、企画書作成、大学側へのプレゼン、簿記や調理、接客の研修、

女子ラクロス部、 国際大会で今年も活躍 日本代表に佐々木梓さん



佐々木 梓さん

日本ラクロス協会04年度女子日本代表としてラクロス部の佐々木梓さん(スポ行4)が活躍している。05年6月に米国で開催予定の女子世界大会に向けて、トップ層選手・強化育成のためにメンバーを集めているもので、佐々木さんは社会人・大学生から成る日本代表27人の中に入り、厳しい練習会に参加している。

また、海外遠征では、6月8日から15日には、飛澤園子さん(スポ行3)、富永小百合さん(人健3)が21歳以下女子日本代表として豪「DOWN to business simulation」。大塚裕士さん(法政経4)が、自らの学生生活、就職活動を振り返り、在学中に社会人になるための1歩を身をもって経験する機会を後輩達に形として残せたら、との思いで、5月からスタートした。

卒業生も国際大会で大活躍!

女子野球世界大会で優勝 和田さん、上田さん

和田さんMVP獲得!

さんは日米野球もあわせ5年連続の選出となった。

バトントワリング世界大会で 団体優勝 OGの今西真理さん



輝く金メダルを胸に、チームメイトと喜びの今西さん(前列左から3人目)

国際試合に参加した。女子ラクロス部は、秋の関西1部リーグで、初のファイナル3入りを目指して健闘していたが、惜しくも逃し、3勝3敗1引分で4位だった。

卒業生も国際大会で大活躍! 和田さん、上田さん

女子野球世界大会で優勝 和田さん、上田さん

和田さんMVP獲得!

さんは日米野球もあわせ5年連続の選出となった。

バトントワリング世界大会で団体優勝 OGの今西真理さん

輝く金メダルを胸に、チームメイトと喜びの今西さん(前列左から3人目)

大学スポーツ行動学科卒業生の今西真理さん(04年卒)が、世界バトントワリング選手権大会団体の部で念願の金メダルを獲得した。

同大会は8月6日から8日まで開催された。今西さんは小学1年生からバトンを始め、日本ではトップレベルのPLバトンチームに所属。世界選手権には3年連続出場している。今回の開催地は大阪で、2年連続銀メダルをとった昨年、「大阪で金をとれば」と、夢を語ってくれていた。

「金を目指して妥協なく練習してきました。本番ではバフエクトに近い演技ができてびっくり。チームではメンバー同士が高い意気持を持ちながら、仲良くいろんな壁を乗り越えてきたので、自分たちなら大丈夫という気持ちで持ってきました」と、当日を振り返る今西さん。

「バトンは、技術だけではなく、日常生活でも素直に謙虚な気持ちで取り組まなければならない競技です。今後は、人間として大きく成長していけるような選手を育てていきたい」と大きな目標を胸に、指導者としての道を歩み始めている。

住所等の変更、本紙に関するご意見、ご感想等は広報室までご連絡下さい。電子メールもご利用下さい。